



## 朝活

### 萱野 大樹

Kayano Daiki

中学生の時の友達の座右の銘が「何事も挑戦」で、筆者の心にも妙に馴染み、以来、「何事も挑戦」は筆者の好きな言葉の1つである。この言葉の影響が、興味を抱いた世界を色々覗いてきた。良く言えば好奇心旺盛、悪く言えば単に誘惑に弱いだけとも言える。仕事や学問に対して好奇心旺盛が実践できれば良いのだが、残念ながら筆者が誘惑されたものの多くは activity 系。高校生以来、スケボー、スノボ、ボディボード、サーフィン、ロードバイク、トライアスロン…等に誘惑され、一時的にでも筆者の趣味となった。典型的な熱しやすく冷めやすい性格なため、多くのものは長続きしない。しかし、熱している時の熱量はそこそこで、スノボではボーダークロスという障害物競争のような競技に熱中し、ボディボードではショップの代表として千葉遠征させてもらい、ロードバイクではチーム戦ではあるが表彰台に上がらせてもらい、トライアスロンではミドルの大会（スイム 2.5 km, バイク 100 km, ラン 23 km）を 2 回完走した。

それぞれの趣味に楽しい、苦し楽しい思い出が多々あるが、カナダで体験したヘリスノボは大切な宝物の1つである。ヘリコプターで山頂まで運んでもらい、雄大な景色の中、延々と続く新雪を滑った時の高揚感は今でも鮮明に覚えている。以来、新雪の虜となり、最近メディアで問題視されているバックカントリーの世界も覗いている。メディアをお騒がせしないよう細心の注意を払ってはいるが、自然相手なので筆者自身、今後も絶対にお騒がせしないとは言い切れない。20年近くスノボで新雪を楽しんできたが、スキーでも気持ちよく新雪を滑りたいと思うようになり、2年前に新雪用のスキー板

を購入し、練習中である。いつかアラスカを滑りたい。

去年の秋から釣りははじめた。妻が生餌を食べた魚は食べたくないと言うので、ルアー釣り。友達に誘われた初釣りで 76 cm のスズキが釣れた。友達に言われるがままルアーを投げたら、釣れた。家に持ち帰り、YouTube を見ながらさばいて食べたが、臭みがなくとっても美味しい。もちろん、料理をしてくれた妻の腕前のお蔭であるが、魚好きの家族全員が喜んでくれた。以来、友達の術中に見事にはまり、釣り沼にはまっている。魚に関しては自給自足できる、と思っではじめた釣りだが、余程上達しない限りは魚屋で魚を買う方が安上がりということに、釣り歴半年で気づいた。家族はもっと早くに気づいていたようだ。それでも好きな時に釣りに行かせてもらっているので、寛大な家族に感謝である。釣果ゼロでも、藪をかきわけ岩場を歩きまわり、魚が潜んでいそうな所を探してルアーを投げるだけで心地いい。子供の頃の探検遊びを思い出す。

筆者が没頭してきた遊びの多くは、休日平日問わず、コンディションさえ整えば早朝に楽しめる。家庭があっても、家族が起きる前に一遊びできるのがとてもいい。数年前に「朝活」や「エクストリーム出勤」という言葉が流行ったが、筆者も 20 年以上続けている。朝 4~5 時頃に起きて 1~2 時間程遊んでから出勤。スノボ、スキーは冬型の気圧配置が決まった時を狙って、朝 2~3 時頃に起きて山に向かい、数時間かけて暗闇の中を登坂、日の出と共に 1 本滑走し、それから出勤する。滑走時間は 10 分にも満たないが、年 1, 2 回あるかないかの至福の数分間だ。朝活した日は、昼過ぎまで高揚感で仕事がかどるが、夕方には力尽きてぐったり。年々体力の衰えを感じており、朝活の頻度は少しずつ低下しているが、まだまだやめられない。

明日は梅雨明けの薄曇り。ヤマメの活性が上がり警戒心は薄れ、釣果が期待できるはず。明日の朝活に今からワクワクしている。

(2021 年 7 月 26 日・記)

(金沢大学附属病院 核医学診療科)